

一般質問

町政を問う

今回6名が質問し、
その要約を掲載しました。

藤 咲 芙美子 議員 …………… 12

1. 国民健康保険について
2. アツマーレのグラウンド使用料について
3. 職場の労働環境 (パワハラ・セクハラ) について

加藤木 直 議員 …………… 13

1. 荒廃農地の発生防止と解消について
2. 高額な土地の購入について
3. 無駄な出張について

小 坏 孝 議員 …………… 14

1. 環境センターについて
2. 地域おこし協力隊について
3. お試し住宅について
4. 区長要望について

桜 井 和 子 議員 …………… 15

1. 高齢者対策として
2. 投票率アップの施策について
3. 犬用防刃ベスト貸与について

猿 田 正 純 議員 …………… 16

1. 決算認定総括
2. 町民による町内除草作業について
3. 条例や要綱・要領について

河原井 大 介 議員 …………… 17

1. 来年度予算方針について
2. 町の財政状況について
3. 今後の町づくり、ビジョンについて (未来像、展望)

☐次ページからの、顔写真下のQRコードをスマートフォンなどで読み込むと、一般質問時の動画が視聴できます。



🌻「町政を問う」の掲載記事は、質問者本人の寄稿によるものです。

国民健康保険について



藤咲 芙美子 議員



こちらから動画が視聴できます

《町長》 来年度、平等割を廃止

藤咲 高すぎる国民健康保険料を引き下げ、18歳以下の子ども均等割減免を求める。低所得層の方で、子育てをしている若いお母さんは非正規が多い。ダブルワーク、トリプルワークで生活をつないでいる方もいる。小さな赤ちゃんにも一律課せられる均等割は、不公平な制度だ。

町長 来年度平等割を廃止し、町として6,500万円の財源をかけて保険料を減額する。

藤咲 均等割は医療分、後期高齢・介護支援分の全てにかかっている。20歳未満の子供にかかる均等割の額は1,290万円だ。国保の基金は5億6,000万円ある。その基金を取り崩して減額でき

ないか。
町長 子育て世代だけ使うのはバランスを欠く。



職場の労働環境（パワハラ・セクハラ）について

《町長》女性に向かって言うことではない

藤咲 パワハラ・セクハラは、重大な人権侵害であり、職場内にあるパワハラ・セクハラの一掃は町民へのサービス向上の観点から急務だ。個人の問題ではなく、役場組織全体の問題だと考える。

役場内の声を聞いてみると「金曜日なのに、帰って子づく

アツマーレのグラウンド使用料について

《まちづくり戦略課長》町の指定管理料を減額

藤咲 ホーリーホックのグラウンド使用料800万円を、開発公社の収入とすることはおかしい。

まちづくり戦略課長 開発公社に指定管理したときに、町の指定管理料から800万円

藤咲 指定管理した開発公社が、収入できるのは当然だとする言い分は違う。

条例で開発公社が収入できるのは、『日々入る一般的な』使用料、入場料であり、町とホーリーホックが契約したグラウンド使用料は、町に入金すべきだ。



アツマーレ

町長 その様な発言を、女性に向かって私が言うことではない。

藤咲 職員をおとしめる言論は許されず、職員に謝罪すべきだ。

改善策として、相談窓口を作るべきだ。
町長 相談窓口として、職場には衛生管理委員会を設置し

パワハラ・セクハラを訴えた職員の犯人探しはすべきではない。



かとうぎ 加藤木 直 議員

荒廃農地の発生防止と解消について



こちらから動画が視聴できます

《農業委員会事務局長》令和2年度8.1ヘクタールの集積

加藤木 当町の荒廃農地の割合は。

農業委員会事務局長 水田は11・6%、畑は7.4%である。

加藤木 最適化推進員の役割と成果について伺う。

農業委員会事務局長 地元

農業者の立場を活かし、農地集積を促進している。成果については、令和2年度8.1ヘクタールの集積を行った。

加藤木 荒廃農地の解消について、具体策を伺う。

農業委員会事務局長 人・

農地プランの実質計画の作成や農地流動化奨励金を活用し、農業委員、推進員とが情報を共有し、荒廃農地防止の対策を図っていく。

加藤木 奨励金交付要綱は合併時のままなので、交付条件や奨励金の額の見直しが必要だ。

加藤木 末端自治体

無駄な出張について

《税務課長》

町長がアポイントメントをとった

加藤木 固定資産税の過誤納付の件で総務省へ出張したと聞いたが、誰がアポを取り何名で行ったのか。

税務課長 町長がアポイントメントを取ったと聞いている。町長ほか2名で行った。

加藤木 末端自治体が、直接国まで行かなければ解決しない問題なのか。茨城県は何のためにあるのか。



高額な土地の購入について

《まちづくり戦略課長》

ホロルの湯の入口の土地を購入

加藤木 土地を買う

時の単価は、どのようになっているのか。

財務課長 土地評価審査や、地域の土地単価の前後に従って決定している。

加藤木 ホロルの湯入口の土地を購入しているが、単価と購入理由を伺う。

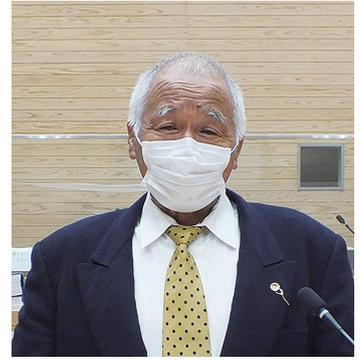
まちづくり戦略課長 ホロルの湯の整備当初から買収に至らなかった土地を購入したもので、単価は1反当たり500万円です。

加藤木 今までの土地を購入できていないことで、不具合が生じていない。1反当たり500万円は、整備当初の20年前の額であり、町民が納得するのか疑問だ。

加藤木 近隣の土地の評価額を考えると、1反当たり600万円は適正な金額なのか。購入理由も、チェック機関の議会としては納得できない。

また、この土地購入の起案を特別職である副町長がされたとの事だが、組織の崩壊が心配だ。

環境センターについて



こあくつ 小 孝 議員



こちらから動画が視聴できます

《町民課長》毎月第3日曜日の搬入受付 継続

小 小 小 町民のごみ持ち込みは30キロを超えた分は有料なのに、2,800万円が開発公社に委託しているアツマーレの草刈りした草の持ち込みが無料なのはおかしい。すべて無料にすべき。

町民課長 家庭ごみは減量化の観点から、今後も有料を継続。アツマーレは、減免措置によりお金をもらっていない。

小 小 小 働いている人が平日粗大ごみを出しづらいため、日曜解放を増やせないか。

町民課長 毎月第3日曜日の搬入受付を継続。

小 小 小 町民がごみを捨てに行く、免許証の提示、申込書を記入しなければならぬ。何回も捨てに来る町民に、許

可証を発行できないか。

町民課長 近隣町村にも聞き取りし、免許証での確認が一番現実と考えている。

地域おこし協力隊について

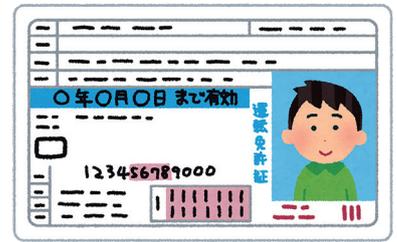
《農業政策課長》

7名就農、1名は林業関係に就農

小 小 小 地域おこし協力隊の、定住した人数は。定住後は自立できているのか。

農業政策課長 任期を終えた隊員10名のうち9名定住している。そのうち7名は就農、1名は林業関係に従事している。

まちづくり戦略課長 卒業者が7名で、うち2名が定住しており、1人は結婚し、1名は会社に勤めながら活動を行っている。



お試し住宅について

《まちづくり戦略課長》町はあっせんしていない

小 小 小 お試し住宅を利用後、引越してくれた方はいるのか。

まちづくり戦略課長 2名

おり、塩子地区の空き家を借りて住んでいると聞いている。

小 小 小 町は住むところをあっせんしたのか。

区長要望について

《町長》

私が印鑑押してくださいと歩くことはない

小 小 小 区長が道路要望をしても、全然改良がすすまないのに、一部の町民が町長に要望すれば、すぐに道路改良してくれると聞いた。

町長 区長が道路改良がすすまないの、一部は町民が町長に要望すれば、すぐに道路改良してくれると聞いた。

小 小 小 町長が建設業者に直接行って話をしているとの話を聞く。直接仕事ももらう業者へ出入りすることは、町民に誤解を招く。注意してほしい。





さくらい かずこ 議員
桜井 和子

高齢者対策として



こちらから
動画が視聴できます

《長寿応援課長》《町民課長》

補助については検討

桜井 毎年のように猛暑が続き、高齢者が自宅で熱中症にかかるリスクが高まってきている。

高齢者の個人住宅のエアコン設置に、補助ができないか。

長寿応援課長 県内の4市が令和3年度の単年度事業として導入している。今後近隣市町村の状況を踏まえ、検討していく。

桜井 特殊詐欺による被害の報道が後を絶たない。町民が特殊詐欺の被害に悩むことのないよう、特殊詐欺を防ぐ機能がついた電話機の購入に補助できないか。

町民課長 特殊詐欺被害の未然防止対策として、街頭キャンペーンの実施等による啓発活動や防災無線放送による未然防止

の注意喚起の呼びかけを行っている。補助については近隣市町村の動向を踏まえて検討する。

桜井 2万円の電話機の半額補助を行っても、10軒分で10万円の費用である。わずか10万円で、被害を防ぐことができるが、補助は難しいのか。前向きな検討をお願いする。

大用防刃ベスト貸与について

《農業政策課長》 早急に今年度配備を検討

桜井 猟犬を伴った猟を行う際、追いつまされたイノシシによって、猟犬が逆に襲われてけがを負うことがある。実施隊の皆さんが安心して狩猟ができるよう大用防刃ベストの貸与はできないか。

農業政策課長 補助事業等の充当も含め、早急に今年度で配備できるよう検討する。



投票率アップの施策について

《総務課長》

タクシー券の補助を検討していく

桜井 合併前に比べて現在の投票所はどのように変動したのか。

総務課長 統合により18カ所減少している。

桜井 投票所が31カ所から13カ所に縮小され、投票率はどういったようになったのか。

総務課長 投票率は低下傾向にある。投票率アップのため若年層への対策として、

中学校の生徒会選挙や、県立桜ノ牧高等学校常北校の模擬選挙の際に投票箱や記載台の貸出しなどを行い、選挙の関心を高める活動を行っている。

桜井 高齢者世帯の方から、投票所が遠すぎるとの声が届いている。車のない方、投票所が遠い地域の有権者の方々が気軽に投票できるように、期日前投票の間送迎車を運行すべきと思うが。

総務課長 投票所までの足の確保に、タクシー乗車券の補助をしている自治体がある。検討していく。



決算認定総括



まさき まきやま 議員
猿田 正純



こちらから
動画が視聴できます

《総務課長》 監査委員への説明を怠ってしまった

猿田 地方自治法

第233条に自治体の決算に関する規定があり、毎年度監査委員の審査を受け、審査意見書を付けて、議会の認定に付すものとされている。

9月定例会に取り下げた決算認定が、再度提案されるまで3ヶ月もかかった理由は。

総務課長 決算審査意見書の数字、文言等の内容を再度点検したため。

猿田 昨年度議会の認定を受けた令和元年度決算審査意見書は、公文書である。なぜ改ざん（修正）したのか。

総務課長 意見書に誤りがあり訂正を行ったが、監査委員への説明、確認を怠ってしまった。

猿田 決算意見書の位置づけを伺う。

総務課長 監査委員の

意見書については、議決対象になっていないと判断している。

猿田 県や近隣市町村に聞いたところ、意見書は決算書と同じく、認定を受けたものと認識し、仮に参考資料の認識であつても、公文書の改ざん（修正）など絶対にあつてはならぬ事。議会に説明をして承諾を得てから修正すべき案件だと言う。県や他市町村のような認識があれば、このような事態は起こらないはず。

今後の改善策は。

総務課長 今後は各課ごとに全員でチェックし、正確性の確保に努める。

猿田 今後は町執行部の丁寧な対応をお願いしたい。

要綱・要領は守るべきではないか。

町民による町内除草作業について

《都市建設課長》

参加者は減っている

猿田 全町民が実施している除草作業について、参加状況、事故の実態、支払い方法は。

都市建設課長 参加者は、昨年3,345人、今年3,047人と減っている。事

故は作業中にスズメバチに刺された事故があり、傷害保険で対応。報償は各区から提出される参加者名簿数で算出し、請求のあった口座に支払っている。

猿田 報償単価について、町内同一にならないか。また、区の口座でなく、個人名義の口座に振り込まれているものがあると聞くが、何故なのか調べて欲しい。

条例や要綱・要領について

《町長》

要綱・要領守っている

猿田 前回の定例会で固定資産税の過誤納付に対して、町

町長 要綱・要領は守っている。

の要綱には10年分返金とあるが、町長は要綱は議会の議決も必要なく、守る必要はないと答弁している。

猿田 ではなぜ、10年分返金すべきところを、町長権限で5年分だけ返金すると答弁したのか。きちっと守っていただきたい。

要綱・要領は守るべきではないか。



かわらい だいすけ
河原井 大介 議員

来年度予算方針について



こちらから
動画が視聴できます

《財務課長》 来年度予算、まだ想定できていない

河原井 今年度の予算は、財政調整基金を7億円取り崩した。来年度予算は、どのようになるのか。

財務課長 現在まだヒアリングが始まったばかりであり、各課から予算が上がってきていないので想定できていない。

河原井 一般会計から特別会計への繰り出しする金額の規模も、まだ決まっていないのか。

財務課長 一般会計から特別会計への繰り出しは、同等同額規模であり、水道へは1億5,000万円、介護保険等には3億7,600万円位の予算である。

町の財政状況について

《財務課長》

国の早期改善基準を下回っている

河原井 現在町の財政は、国からの手厚いサポートにより、これから明るいまちづくりができ、将来も健全な財政運営が出来る、町執行部は言っているが、本当にそうなのか。

財務課長 令和2年度一般会計決算において、国の定める早期改善基準を下回っており、健全性を維持している。

河原井 人口が減っている中、町税が約20億円で地方交付税が約40億円と、町の基本収入は60億円である。国が示す、この町の標準財政規模は62億から65億円なのに、120億円規模の予算を組んでい

る。

借金が増え、貯金が減っている今の財政運営では、5年後に危機的な財政状況にならないと言い切れるのか。

財務課長 歳入は、地方交付税や国・県支出金に依存している。歳出は、町の維持管理の経費が予算に占める割合が高く、今後増加が見込まれる。

河原井 今後の町の事業的な借金額や、税収入額のシミュレーションはやっているのか。

財務課長 施設の集約や統合、再編成を行い、大規模改修や更新費に関するトータルコストの削減を図

る。施設を集約していくため、見直しを行う。ヒアリング後、議会に報告したい。

今後の町づくり、ビジョンについて (未来像、展望)

《財務課長》 具体的な予算は無い

河原井 企業誘致、地場産業育成、医療機関の誘致、介護福祉等を含む「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の事業計画案に、来年度予算をつけるのか。さらにこの戦略の数値目標を達成するために、予算総額いくらになるのか。

財務課長 現在、具体的な予算は、決まっていない。予算総額

も把握していない。まちづくり戦略課長 新規事業実現のため役所内部で協議をし、事業を計画していく。

河原井 役所では、様々な事業計画書が作成されている。計画達成のためには、予算措置をしっかりと考え、町発展の為に今すぐにでも始める必要があると考える。